

## 鳥獣の被害対策

# シカの侵入防止柵の効果は？

～ GISを使った島根半島弥山山地での効果分析 ～

### 研究の背景・目的

島根半島弥山山地では、農林作物被害を防ぐために、1995～2006年度にニホンジカの侵入防止柵を約15km(金網フェンス115,000m、ステンレス線入り網柵26,500m、電気柵84器など)以上に渡って設置しました。この効果を防止柵の設置状況とシカの目撃・被害情報をGISを使って地図化して検証しました。

### 研究方法

2006年7月～2007年3月、弥山山地の6か所(各1～4km<sup>2</sup>)において、シカの目撃、被害情報と防止柵の種類、設置状況を調査しました。これらの調査結果をGISを使って航空写真上に地図化して侵入防止効果を分析し、その後に現地調査を行いました。

### 研究の成果

調査地によって、防止柵の種類や設置方法に違いがありました。防風ネット柵は、強度に問題があつて侵入されたものが多かったですが、ステンレス線入り網柵は高い効果を認めました。電気柵は、高さが不十分なものは侵入されました。金網フェンスは、大規模に山中に設置されたものでは不完全な囲い方によって侵入された場合など設置方法に問題がありました。したがって、網柵は強度の高いものを選び、電気柵は高さに注意が必要でした。また、金網フェンスを大規模に設置する場合は、維持管理が容易な山際に設置する必要がありました。

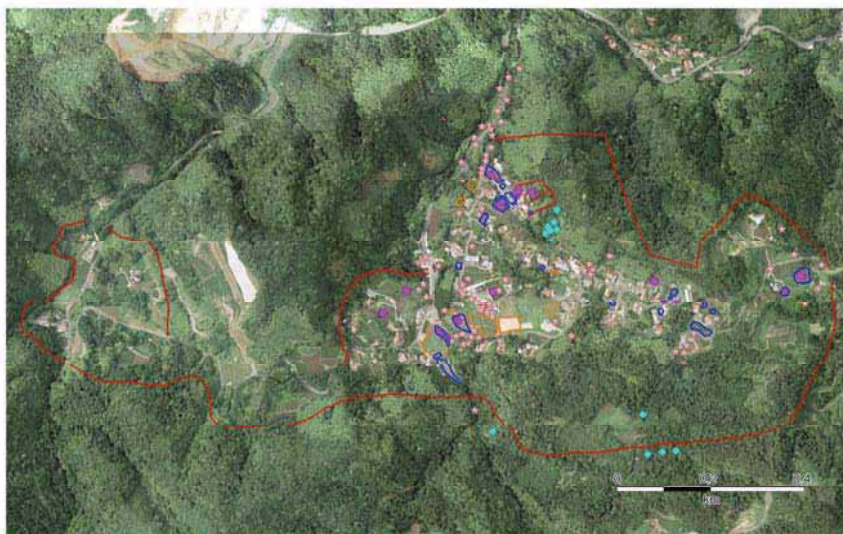


図 侵入防止柵の設置状況と目撃・被害状況(唐川調査地)

効果の高い電気柵(高さ150cm)

金網フェンス: ———— 網柵: ———— 電気柵: ————  
 ★: 目撃    ●: 農作物被害    ◆: 林木被害

### 研究成果の活用

今後の弥山山地における侵入防止柵の設置法の普及に活かします。



MOUNTAINOUS REGION RESEARCH CENTER  
 島根県 中山間地域研究センター

〒690-3405 島根県飯石郡飯南町上来島1207

所属グループ 鳥獣対策グループ

担当研究者 金森 弘樹(かなもり ひろき)

問い合わせ先 0854-76-3818

E-mail [chusankan@pref.shimane.lg.jp](mailto:chusankan@pref.shimane.lg.jp)

試験研究課題名: 鳥獣害広域対策事業(研究期間: H19～)